

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	134高等教育の充実		
施策のねらい (めざす姿)	義務教育修了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。 自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	柴田 康弘

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	オープンカレッジについては、幅広い進路選択に向けた情報提供等の実施や、学習講座の充実を図る。また、地権者の相続が発生する時期は予測できないため、日頃から地権者との信頼関係を築いていく中で、常に急な用地の買い取り要望等に備えておく必要がある。	③改革・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化・高度化する市民の学習ニーズを的確に把握するとともに、これらに対応できる学習機会を提供する。 ・地権者(高校用地)からの買い取り要望との調整を図りながら、適正な賃借料基準額に基づく借地を行う。
②①に基づく取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉経済大学短期大学部との連携によるオープンカレッジを実施した。 ・借地に関しては、具体的な買取要望は出ていない。 		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	義務教育終了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。また、自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。
②施策の概要	義務教育終了後の生徒一人ひとりの能力や適性に応じた進路指導に努める。市民の高度で専門的な学習要求に応えるため、大学等の高等教育機関や学習機関との連携に努め、学習機会を提供する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の更に多様化・高度化する学習ニーズへの対応が求められる。 ・地権者による相続等の発生が予想されることから、急な対応を迫られることが想定される。 			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	市内各中学校の教職員が、生徒の能力や適性に応じた進路選択への支援(進路指導)に当たることができるよう、近隣の各高等学校等の受験に関する情報提供等を行った。また、千葉経済大学短期大学部と連携し、現代的課題を中心とした講座を開催した。							
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)	
	i	オープンカレッジかまがや参加者数	人	523	640	688	1,000	
	ii							
	iii							
③基本事業成果指標	i	高等学校進学率	%	97.0	98.9	98.0	97.9	
	ii	オープンカレッジかまがや参加者数	人	523	640	688	1,000	
	iii							
	iv							
	v							
	vi							
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算				
事業費(千円)	2,728	2,728	(単位:円)	25	円			2,933

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	多様化・高度化する市民の学習ニーズを的確に把握するとともに、これらに対応できる学習機会の充実を図る。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	市内各中学校の教職員に対し、進路に関わる新しい情報を提供するとともに、高度な学習機会を提供するため、各大学や専門機関の人材を活用した講座を開催した。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	用地借上げに要する経費		
④上記方向性の説明	今後も、児童・生徒一人ひとりに対して、進路指導の工夫等をさらに充実させる。また、オープンカレッジについては、多様化・高度化する市民ニーズに対応する学習講座の充実を図る。		